

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	代表取締役 柳澤秀樹	法人・事業所の特徴	1.【個別ケア】ひとりひとりが歩んでこられた人生への理解と共感に基づき、自立支援を基盤としたケアを行います。 2.【認知症ケア】認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、安心して過ごせる居場所と関りを提供します。 3.【看取りケア】穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちが迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族様に寄り添い支えます。 4.【地域ケア】住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように、各組織や地域住民の方々との連携を図り支えます。
事業所名	あったかほーむ桜花	管理者	所長 小林孝章		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	*改善計画を忘れないように、毎月の会議の中で改善計画を読み上げ意思統一を図る。 *途中経過を評価して、必要に応じて報告を行う。 *自己評価についての説明を行い、解釈の統一を図る。	*新型コロナウイルス感染症で、会議開催時間の短縮で全員が出席できず、毎月の会議の中で改善計画を読み上げ意思統一を図ることが難しかった。 *途中経過を評価して、必要に応じて報告を行うことができなかった。 *日々の中で各自が具体的な目標をもって達成できるように努めるのが難しかった。	*【今年度は新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】	*新型コロナウイルス感染症で前回の計画の取組みができなかったため、引き続き改善計画を忘れないように、毎月の会議の中で改善計画を読み上げ意思統一を図る。 *途中経過を評価して、必要に応じて報告を行う。 *自己評価についての説明を行い、解釈の統一を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	*引き続き、地域の方々に気軽に立ち寄れる環境作りを施設として構築する。(手段として地域の方に対し「お茶会」「夏祭り」など、回覧板等で連絡をして多くの方に参加をして頂き、施設のアピールをする。) *保育園の園児たちが散歩中に気軽に寄ってもらえるように園長を通して話をする。	*新型コロナウイルス感染症で、お茶会・夏祭り(区育成会と合同)など全ての行事が中止となり、地域の方に参加をしてもらうことができなかった。 *家族や地域の方が事業所に入りやすい工夫(プリザーブドフラワーを飾るなど)を行い、玄関などは居心地がいい空間にして今後も気軽に立ち寄れる環境づくりに努めた。	*【今年度は新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】	*コロナ禍で引き続き、地域の方々に気軽に立ち寄れる環境作りを施設として構築する。(手段として現在は、地域の方に対し回覧板等で連絡をして施設のアピールをする。) *コロナ禍なので状況を見ながら、「お茶会」「夏祭り」及び保育園児の立ち寄りなどを実施。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>*介護予防教室への参加及び具体的な困りごと例内容を記載して回覧で回して相談を募る。 *地域公開講座やお茶会・夏祭りなどを通して交流を深め、参加された方々にもアピールして気軽に相談できる施設を目指す。 *回覧板を回して頂くようになったので地域の行事を把握して参加をしていく。</p>	<p>*新型コロナウイルス感染症で、地域公開講座や地域の行事やイベントも中止になったため交流が無く、参加された方々にもアピールできなかった。 *隣組の回覧板を施設にも回して頂き、施設発行新聞も回覧することができた。</p>	<p>*【今年度は新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら介護予防教室への参加及び具体的な困りごと例内容を記載して回覧で回して相談を募る。 *コロナ禍で状況を見ながら地域公開講座やお茶会・夏祭りなど再開時には交流を深め、参加された方々にもアピールして気軽に相談できる施設を目指す。 また、回覧板を回して頂くようになったので、引き続き地域の行事を把握して参加をする。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>*ご家族及び訪問時やケア会議などで、近所・民生委員の方から情報をもって共有をし、更に社協・地域包括支援センターと連携を図って取り組んでいく。 *地域の行事やイベントの情報収集をし、スタッフの勤務調整をして参加をする。 *冬場の暖かい日は、ベランダに出たり駐車場内を散歩したりするように工夫を行う。</p>	<p>*新型コロナウイルス感染症で、訪問時など近所・民生委員の方との接触も無く、情報など共有することができなかった。 また、地域の行事やイベントも中止になり、情報収集できないためスタッフの勤務調整をしての参加もできなかった。 *コロナ禍ではあるが、ベランダに出て日光浴をしたり駐車場内を散歩したりすることができた。</p>	<p>*【今年度は新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍ではあるが、引き続きご家族及び訪問時やケア会議などで、近所・民生委員の方から情報をもって共有をし、更に社協・地域包括支援センターと連携を図って取り組んでいく。 *コロナ禍で状況を見ながら地域の行事やイベントの情報収集をし、スタッフの勤務調整をして参加をする。 *コロナ禍ですが、近隣の花見学など人数制限をして行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>引き続き、現場のスタッフも運営推進会議に出席できるように勤務調整を行い、現場の意見を出してもらうようにする。 *民生委員等から地域の中で心配な方や困っている方はいないか、会議で確認を行い検討できるようにする。</p>	<p>*新型コロナウイルス感染症で、運営推進会議の開催が中止となりスタッフの出席もできなかった。 また、地域の中で心配な方や困っている方の把握もできなかったため、事例検討や地域での取り組みの意見等についてもスタッフ間での話し合いが持てなかった。</p>	<p>*【今年度は新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、運営推進会議開催時はスタッフも出席できるように勤務調整を行い現場の意見を出してもらうようにする。 *民生委員等から地域の中で心配な方や困っている方はいないか、運営推進会議用の報告資料配布時に確認を行い検討できるようにする。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>*防災計画（火災・風水害・地震等）作成を行う。 *引き続き、災害時等、非常食の備蓄や支援できる体制を進める。 *年2回のうち1回は夜間想定をした緊急電話連絡等の訓練を行う。 *事業所の防災訓練に推進委員等にも案内をして参加していただく。 *夏祭り等のイベント時に施設内を見て頂き、防災・災害時の対応に繋げる。</p>	<p>*コロナ禍で年2回消防訓練（消火・避難・通報訓練）を実施し、夜間想定も行った。 *新型コロナウイルス感染症で、市の消防署から指導等は10月の1回となり、地域の消防団への要請はしなかった。 また、施設隣接の地域の方にも事前に参加への声掛けをしなかった。 *災害に備えて「事業継続計画（BCP）作成をした。</p>	<p>*【今年度は新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）して実施を行う。 また、引き続き災害時等の非常食の備蓄状況の確認をし、支援できる体制を進める。 *消防訓練は年2回実施、うち1回は夜間想定をした緊急電話連絡等の訓練を行う。 また、推進委員等にも案内をして参加していただく。 *夏祭り等のイベント再開時には施設内を見て頂き、防災・災害時の対応に繋げる。</p>
----------------------------	---	--	--	--